

2007年12月10日

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン・アセットマネジメント
宇佐美 博高から皆様へのメッセージ

日本経済の活力の源となる新興企業

新興企業の業績につきましては、「ジャスダック、東証マザーズ、大証ヘラクレスの新興3市場に上場する3月期決算企業の9月中間決算は16.7%増、通期予想も14.2%増となった」と報じられているように、総じて堅調に推移しています。昨今のように株価は短期的にはサブプライムローン問題など様々な要因の影響を受けるものの、中長期的には企業の業績や成長力に連動すると考えているため、好業績に比して過小評価が続く市場環境は徐々に見直されることを期待しています。

新興市場を取り巻く環境も変わりつつあります。即ち、新興市場の上場企業を対象としたETF（株価指数連動型上場投資信託）を組成する動きが最近報道されたほか、ジャスダック市場が先端技術企業向け新市場の「NEO（ネオ）」を開設して既に3社が承認を受けている（2007年11月26日現在発表分）など、市場活性化への条件も着々と整備されつつあるようです。また、公的年金の積立金を運用する年金運用法人も中小型株式投資を拡大し、中長期保有で1,000億円の投資枠が予定されているとのことで、投資家の意識も徐々に変わりつつあるように感じます。

日本経済の活力の源となる新規公開社数については、過去最高となった昨年（188社）と比較すると、今年は121社（11月30日現在判明分）と減少する見通しです。この背景には、上場時の証券会社や証券取引所市場による審査基準が過度に厳格化されているとも言われていますが、それ以上に、新興企業全般の株価低迷が続いたため、「このような株価水準では成長のための十分な資金調達ができない」と判断して上場を先送りする企業が増えていることなども挙げられるのではないのでしょうか。実際、公開直後に株価が公募価格や初値を割り込むケースも多々みられた結果、最近では高成長企業といえども10倍台のPER（株価収益率）水準にとどまるなど、過小評価されていると判断される企業も少なくありません。

しかしながら、こうした状況は、冷静な調査分析に基づき過小評価された革新的な高成長企業をより割安な水準で組み入れる好機と捉えることもできると言えます。どのような市場・経済環境にありましても、業績に自信があり、目先の資金調達だけでなく今後の更なる飛躍に向けた経営資源のより有利な獲得や知名度向上など、上場をさらなる成長に向けた一里塚と捉えて公開する革新的な企業もしっかり登場しています。実際、私どもの日々の調査を通じましても確認できています。

1/4

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

かつて、新規公開社数が減少した 2002 年から 2003 年を振り返りましても、新規上場後を契機として大きく飛躍した企業が数多くみられました。やはり、こうした革新的な企業を 1 社でも発掘し「高成長割安 50 社パッケージ」をお届けし続けることが、今後新興株式市場が見直される過程で大きな成果に寄与するものと考えています。

引き続きまして、こうした革新高成長企業を 1 社でも多く発掘・厳選するために、現在も、新規公開時や公開後の経営者との個別直接面談調査などを通じて、企業のもつ強みや経営戦略、将来的な成長力などを一つ一つ調査・分析・判断しています。業種に関しましても、IT などの先端技術だけでなく環境問題への取り組みなど様々な分野で、日本を変えてゆく革新性をもった企業を見出すことができおり、依然日本企業・経済社会の強さ・層の厚さを改めて強く実感しています。このように、高い技術力や成長戦略が評価され、次代を担う革新的な高成長企業が次々と公開して成長を加速することが、新興市場の活性化のみならず、日本経済の活性化にもつながり、世界的に競争力を高める大きな源泉になると大きく期待しています。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント
宇佐美 博高

お申込みに際しての留意事項

<リスク情報>

当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式など値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドのリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【未上場株式などの組入リスク】

<低流動性資産のリスク>

未上場会社の発行する株式など流動性の低い証券については、保有証券を直ちに売却できないことも考えられます。また、このような証券の転売についても契約上制限されていることがあり、基準価額に影響を与えることもあります。

<財務リスク>

未上場会社の発行する株式などは、会社の沿革、規模などの観点から、社会、政治、経済の情勢変化に大きな影響を受け易く、予想に反し、会社の業績、資金調達などにおいて懸念が生じる場合があります。このような懸念が生じた場合、基準価額に影響を受けることも考えられます。

<その他の留意事項>

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

- 商品分類 : 追加型株式投資信託 / 国内株式型(中小型株型) / 自動けいぞく投資適用
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
 お申込価額 : お申込受付日の基準価額
 信託期間 : 平成25年7月17日まで(平成15年7月18日設定)
 決算日 : 毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
 ご解約価額 : 解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
 ご解約代金のお支払い : 原則として、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
 手数料等の概要 : お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
 < お申込時、ご換金(解約)時にご負担いただく費用 >
 お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。
 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、
 お申込手数料はかかりません。
 換金(解約)手数料 : ありません。
 信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額(1口当たり)
 < 信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用 >
 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.9%)を乗じて得た額
 その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
 投資顧問会社 : エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
 受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404
 (午前9時～午後5時、半休日となる場合は午前9時～正午。土、日、祝・休日は除く。)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
かざか証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第58号				
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第129号				

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。